

第7回アーティストバンク活用事業コンサート

出演アーティスト: 宮下旭菖(筑前琵琶)

日時: 令和2年3月21日(土曜日)

開場: 午後2時30分 / 開演: 午後3時

会場: 関市文化会館 小ホール

料金: 無料 定員 / 200名

※文化会館事務室で2月5日(水曜日)から配布する整理券が必要
整理券は先着順でお一人様2枚まで、なくなり次第終了。

(配布時に参加者の方のお名前・連絡先を伺います)

未就学児の入場不可

* プログラム *

1. 「小栗栖」おぐるす

明智光秀 五十五年の夢 覚め
来て一元に帰す

2. 「都落ち」みやこおち

平家物語より。

平家の落人 和歌に託する雅の心

アーティストバンクとは、関市ゆかりのアーティスト情報を収集・登録・公開するものです。アーティストの認知度向上、アーティストによる市民への芸術鑑賞等の機会を提供することにより、アーティストと市民の交流を図ります。アーティストバンク活用事業は、アーティストの紹介、アーティストバンクの活用例として行います。本コンサートでは、アーティストバンクに登録しているアーティストに出演していただきます。

広く活躍している関市ゆかりのアーティストってどんな人？
アーティストバンクってなに？どうやって使うの？本コンサートを通して、アーティストのこと、音楽、アーティストバンクを身近に感じてみましょう！



主催 / 関市

問合せ先 / 文化課 TEL: 0575-24-6455

(関市文化会館内)



～プロフィール～

アーティストバンク登録者 宮下旭菖 (みやしたきょくしょう)

* 筑前琵琶橘流日本橋会 師範 *

愛知県 西枇杷島町出身。
現在 岐阜県関市洞戸在住。
平成10年 "筑前琵琶橘流日本橋会"に入門、
秀師範 箕浦旭声に師事し、琵琶を始める。
以降、毎年 東京・大阪・名古屋などで開催さ
れる演奏会で演奏。

平成19年、20年、21年、22年「筑前琵琶日
本橋会 全国競演会」優賞を受賞。
平成22年 11月 家元審査の師範試験に合格、
師範資格を取得。初代人間国宝 故 山崎旭萃
の芸を受け継ぐ 秀師範 箕浦旭声に師事を続け、
後進の指導に当たる。



ちくぜんびわ ☆筑前琵琶

琵琶(びわ)は、東アジアの有棹(リュート属)弦楽器の一つです。西方アジアのウッドや西欧のリュートと共通の起源で、五弦系(直頸)の琵琶はインドが起源とされており、糸倉は曲がらず真っすぐに伸びています。皆さんご存知の、正倉院に唯一の現物である「螺鈿紫檀五絃琵琶」が保存されています。

筑前琵琶は、「語りもの」音楽です。単なる歌とも違い、楽器を演奏するだけでなく、楽器(筑前琵琶)の弾法で「哀しい別れの場面」や「激しい合戦」の場面や、日本人の繊細で凛とした美しい精神性を表現する事ができる、非常に優れた音楽です。金属やスチール弦ではなく、古来からの樹木と絹糸で出来た、妙なる調べを愛した日本の心です。

日本人がずっと生きて来た足跡を消さないためにも、「語り」つづけるのが「琵琶楽」だと思います。

<お知らせ>

関市ではアーティストバンク登録対象となる関市ゆかりでプロとして活動されているアーティストの情報を集めています。お心当たりのある方は、関市協働推進部文化課までお知らせください。

〒501-3232 関市桜本町2丁目30-1 関市文化会館内

TEL0575-24-6455 FAX0575-24-6950 E-mail bunka@city.seki.lg.jp

